

福岡市バリアフリー基本計画
(アクションプラン)の実施状況について

【平成26年度】

平成27年1月

目次

第1 「福岡市バリアフリー基本計画」の基本理念と施策体系	1
第2 アクションプランに基づく取組みについて 【平成25年度・平成26年度】	2
Ⅰ ハード面のバリアフリー化	
1 旅客施設	2
(1)鉄道駅	
(2)福岡市営地下鉄全線	
(3)バスターミナル	
(4)旅客船ターミナル	
(5)航空旅客ターミナル	
2 車両等	9
(1)乗合バス	
(2)福岡市営地下鉄車両	
3 道路	10
(1)生活関連道路(重点整備地区内)	
(2)信号機(重点整備地区内)	
(3)エスコートゾーン	
(4)バス利用環境の改善	
4 公園	13
Ⅱ ソフト面のバリアフリー化	
1 「心のバリアフリー」の推進	15
(1)啓発・育成・実践	
(2)バリアフリー情報発信	
2 移動支援の推進	19
Ⅲ バリアフリー化の支援と進行管理	
1 スパイラルアップ	20

第1 「福岡市バリアフリー基本計画」の基本理念と施策体系

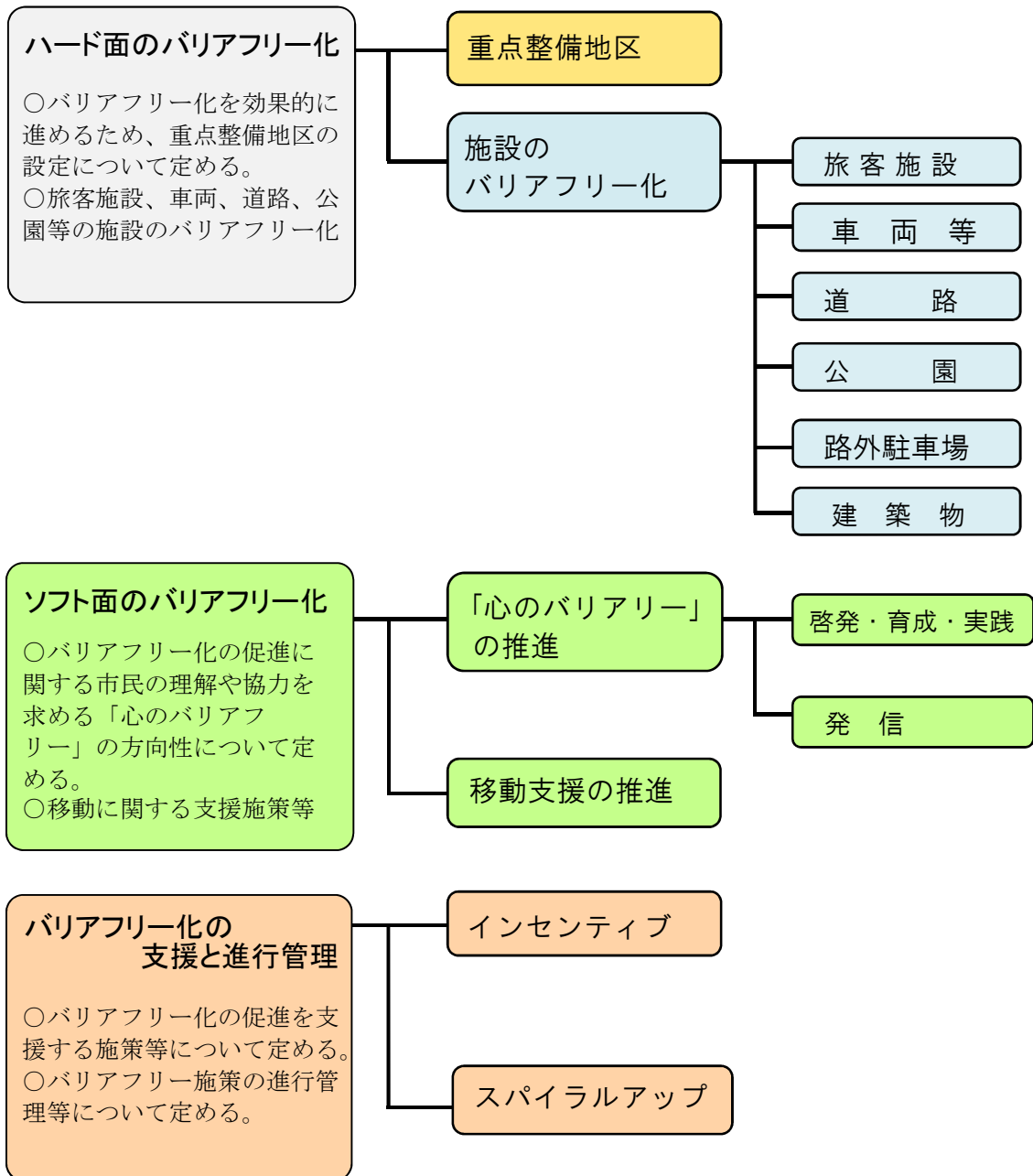
【基本理念】

本計画はバリアフリーの視点に立脚するものですが、ユニバーサルデザインの理念も踏まえて、すべての人にやさしい施設の整備や、すべての人がバリアフリー化の促進について理解し協力を惜しまない社会の実現をめざし、基本理念を次のとおりとします。

誰もが思いやりを持ち、すべての人にやさしいまちづくり

【施策体系】

本計画は、施設整備等のハード面の取組みを中心とする「ハード面のバリアフリー化」、
「心のバリアフリー」の推進など、ソフト面の取組みを中心とする「ソフト面のバリアフリー化」、及び「バリアフリー化の支援と進行管理」の3つの柱で構成されます。本計画の施策体系は、以下のとおりです。



第2 アクションプランに基づく取組みについて【平成25年度・平成26年度】

本アクションプランは、「福岡市バリアフリー基本計画」に定めるバリアフリー化推進の方向性や取組みの方向性に基づき、平成32年までの目標年次に向けて取り組む事業等について、〈前期〉の平成25年度から28年度までに着手・検討する項目を掲げています。記載していない項目においても、バリアフリー化推進に取り組んだ事業は随時追加します。

なお、福岡市バリアフリー推進協議会において、アクションプラン(工程表, H25.3作成)を基に進行管理及び取組内容等の検証等を行い、その結果に基づいて新たな取組みを講じることなどによりスパイラルアップを図っていきます。

本アクションプランでは、平成25年度の実績及び平成26年度の取組みについて報告します。

I ハード面のバリアフリー化

1 旅客施設

(1) 鉄道駅

① 段差の解消					
整備内容	1日当たりの平均的な利用者数が3千人以上の鉄道駅において、エレベーター又はスロープの設置等による段差解消に取り組めます。 ・対象駅数:60				
指標と実績	段差が解消された駅数	現状値	実績	中間目標	最終目標
		平成24年度	平成25年度	平成28年度	平成32年度
		57	58	60	60
平成25年度の取組み【実績】	1. 貝塚線三苦駅のエレベーター設置工事が平成25年5月に竣工・供用開始。【西日本鉄道】 2. JR筑肥線下山門駅のエレベーター整備に着手。【JR九州】 3. JR香椎線和白駅の段差解消について、関係者と協議を行った。【JR九州】				
平成26年度の取組み	1. JR筑肥線下山門駅のエレベーター整備が竣工予定。【JR九州】 2. JR香椎線和白駅の段差解消に着手。【JR九州】				
【関係機関】 ○JR九州 ○JR西日本 ○西鉄 ○福岡市営地下鉄					

段差解消(エレベーター整備)状況(三苦駅)



着手前



完成

② 転落防止設備の整備					
整備内容	1日当たりの平均的な利用者数が3千人以上の鉄道駅において、内方線付点状ブロック又はホームドアの設置等によるホームからの転落防止設備の整備に取り組みます。 ・対象駅数:60				
指標と実績	転落防止設備の整備が完了した駅数	現状値 平成24年度	実績 平成25年度	中間目標 平成28年度	最終目標 平成32年度
		54	55	60	60
平成25年度の取組み【実績】	1. 貝塚線三苦駅の内方線付点状ブロック整備について、平成25年5月に整備済。【西日本鉄道】 2. JR筑肥線下山門駅の内方線点状ブロック整備に着手。【JR九州】 3. JR香椎線和白駅の内方線点状ブロック整備について、関係者と協議を行った。【JR九州】 4. JR新幹線博多駅の転落防止柵の開口部について内方線付点状ブロックが整備されていないため、今後の整備について関係者と協議を行った。【JR西日本】				
平成26年度の取組み	1. JR筑肥線下山門駅の内方線点状ブロック整備が竣工予定。【JR九州】 2. JR香椎線和白駅の内方線点状ブロック整備に着手予定。【JR九州】 3. JR新幹線博多駅の転落防止柵の開口部における内方線付点状ブロックの今後の整備について関係者と協議を行った。【JR西日本】				
【関係機関】 ○JR九州 ○JR西日本 ○西鉄 ○福岡市営地下鉄					

③ 視覚障がい者誘導用ブロックの整備					
整備内容	1日当たりの平均的な利用者数が3千人以上の鉄道駅において、公共用通路など駅施設の外部から駅施設内にアプローチし、車両等へスムーズに乗降できるよう、連続性のある視覚障がい者誘導用ブロックの整備に取り組みます。 ・対象駅数:60				
指標と実績	視覚障がい者誘導用ブロックの整備が完了した駅数	現状値 平成24年度	実績 平成25年度	中間目標 平成28年度	最終目標 平成32年度
		59	59	60	60
平成25年度の取組み【実績】	1. 貝塚線三苦駅における視覚障がい者誘導用ブロック整備において、平成25年5月に改良整備済。【西日本鉄道】 2. JR筑肥線下山門駅における視覚障がい者誘導用ブロック整備に着手。【JR九州】 3. JR香椎線和白駅の視覚障がい者誘導用ブロックの整備について、関係者と協議を行った。【JR九州】				
平成26年度の取組み	1. JR筑肥線下山門駅の視覚障がい者誘導用ブロック整備が竣工予定。【JR九州】 2. JR香椎線和白駅の視覚障がい者誘導用ブロック整備に着手予定。【JR九州】				
【関係機関】 ○JR九州 ○JR西日本 ○西鉄 ○福岡市営地下鉄					

④ 障がい者対応型便所の設置					
整備内容	1日当たりの平均的な利用者数が3千人以上の鉄道駅において、便所がある場合には障がい者対応型便所の整備に取り組みます。 ・対象駅数:60				
指標と実績	障がい者対応型便所の整備が完了した駅数	現状値	実績	中間目標	最終目標
		平成24年度	平成25年度	平成28年度	平成32年度
		58	58	60	60
平成25年度の取組み【実績】	1. 貝塚線三苦駅における整備において、平成25年5月に改良整備済。【西日本鉄道】 2. JR筑肥線下山門の障がい者対応型便所の整備に着手。【JR九州】 3. JR香椎線和白駅の障がい者対応型便所の整備について、関係者と協議を行った。【JR九州】				
平成26年度の取組み	1. JR筑肥線下山門駅の障がい者対応型便所整備が竣工予定。【JR九州】 2. JR香椎線和白駅の障がい者対応型便所整備に着手予定。【JR九州】				
【関係機関】 ○JR九州 ○JR西日本 ○西鉄 ○福岡市営地下鉄					

(2) 福岡市営地下鉄全線

① 情報案内設備の改善	
整備内容	(1)鉄道駅4項目のバリアフリー化(段差解消, 転落防止, 誘導ブロックの整備, 障がい者用トイレの整備)は整備済みであり, 今後も文字情報や音サイン等の情報案内設備の改善に取り組みます。 ・対象駅数:35
平成25年度の取組み【実績】	博多駅筑紫口のトイレ入口の触知図, 音声誘導案内設置について, 平成25年度に着手。
平成26年度の取組み	1. 博多駅筑紫口のトイレ入口の触知図, 音声誘導案内設置について, 平成26年7月に完成。 2. 中洲川端駅川端口のトイレ入口の触知図, 音声案内設置について, 平成26年度内に着手予定。 3. 空港・箱崎線全駅の案内放送・表示器をユニバーサルデザインに配慮したものに改善し, 平成27年2月に完成予定。
【関係機関】 ○福岡市営地下鉄	

(3) バスターミナル

① 段差の解消	
整備内容	1日当たりの平均的な利用者数が3千人以上のバスターミナルにおいて, エレベーター又はスロープの設置等による段差解消に取り組みます。 ・対象ターミナル数:3
平成25年度の取組み【実績】	既に整備基準に適合した状態であり, 施設の維持・保全に努めた。
平成26年度の取組み	1. 既に整備基準に適合した状態であり, 施設の維持・保全に努める。 【福岡市道路下水道局・西日本鉄道】 2. 天神バスターミナルの全体リニューアルに伴い, 整備基準に適合した維持・保全に努めた。【西日本鉄道】
【関係機関】 ○天神バスターミナル ○博多バスターミナル ○藤崎バス乗継ターミナル	

② 視覚障がい者誘導用ブロックの整備	
整備内容	1日当たりの平均的な利用者数が3千人以上のバスターミナルにおいて、公共用通路などターミナルの外部からターミナル内にアプローチし、車両等へスムーズに乗降できるよう、連続性のある視覚障がい者誘導用ブロックの整備に取り組みます。 ・対象ターミナル数:3
平成25年度の取組み【実績】	既に整備基準に適合した状態であり、施設の維持・保全に努めた。
平成26年度の取組み	1. 既に整備基準に適合した状態であり、施設の維持・保全に努める。 【福岡市道路下水道局・西日本鉄道】 2. 天神バスターミナルの全体リニューアルに伴い、整備基準に適合した維持・保全に努めた。【西日本鉄道】
【関係機関】 ○天神バスターミナル ○博多バスターミナル ○藤崎バス乗継ターミナル	

③ 障がい者対応型便所の設置	
整備内容	1日当たりの平均的な利用者数が3千人以上のバスターミナルにおいて、便所がある場合には障がい者対応型便所の整備に取り組みます。 ・対象ターミナル数:3
平成25年度の取組み【実績】	既に整備基準に適合した状態であり、施設の維持・保全に努めた。
平成26年度の取組み	1. 既に整備基準に適合した状態であり、施設の維持・保全に努める。 【福岡市道路下水道局・西日本鉄道】 2. 天神バスターミナルの全体リニューアルに伴い整備基準に適合した維持・保全に努めた。【西日本鉄道】 ・降車場側にオストメイト対応機器・介護ベッドを備えた障がい者対応型便所を新設。 ・乗車場側の障がい者対応型便所の改良に伴い、オストメイト対応機器・介護ベッドを設置。 ・トイレ入口部分に触知板設置及び音声案内による誘導を実施予定。
【関係機関】 ○天神バスターミナル ○博多バスターミナル ○藤崎バス乗継ターミナル	

(4) 旅客船ターミナル（福岡市有施設のみ）

① 段差の解消	
整備内容	1日当たりの平均的な利用者数は3千人未満ですが、福岡市の重要な海上交通機関である旅客船ターミナルにおいて、エレベーター又はスロープの設置等による段差解消に取り組みます。 ・対象ターミナル数:9
平成25年度の取組み【実績】	1. 博多ふ頭第2ターミナルのエレベーターをバリアフリー対応規格に更新した。 音声案内工事も同時完了。 2. 施設の維持・保全に努めた。
平成26年度の取組み	引き続き、施設の維持・保全に努める。
【関係機関】 福岡市港湾局(○国際ターミナル ○博多ふ頭第2ターミナル ○市営渡船待合所)	

② 視覚障がい者誘導用ブロックの整備					
整備内容	1日当たりの平均的な利用者数が3千人未満ですが、福岡市の重要な海上交通機関である旅客船ターミナルにおいて、公共用通路などターミナルの外部からターミナル内にアプローチし、車両等へスムーズに乗降できるよう、連続性のある視覚障がい者誘導用ブロックの整備に取り組みます。 ・対象ターミナル数:9				
指標と実績	視覚障がい者誘導用ブロックの整備が完了したターミナル数	現状値	実績	中間目標	最終目標
		平成24年度	平成25年度	平成28年度	平成32年度
		1	3	4	9
平成25年度の取組み【実績】	1. 平成24年度に着工していた博多ふ頭第2ターミナルの視覚障がい者誘導用ブロックの整備が、7月に完了。 2. 平成26年3月に姪浜旅客待合所と能古旅客待合所に視覚障がい者誘導用ブロックの整備。				
平成26年度の取組み	施設の維持・保全に努める。				
【関係機関】 福岡市港湾局(○国際ターミナル ○博多ふ頭第2ターミナル ○市営渡船待合所)					

③ 障がい者対応型便所の設置					
整備内容	1日当たりの平均的な利用者数が3千人未満ですが、福岡市の重要な海上交通機関である旅客船ターミナルにおいて、便所がある場合には障がい者対応型便所の整備に取り組みます。 ・対象ターミナル数:9				
指標と実績	障がい者対応型便所の整備が完了したターミナル数	現状値	実績	中間目標	最終目標
		平成24年度	平成25年度	平成28年度	平成32年度
		8	8	8	9
平成25年度の取組み【実績】	1. 平成25年8月に博多ふ頭第2ターミナルのトイレをバリアフリー対応規格に更新した。音声案内工事も同時完了。 2. 平成26年3月に姪浜旅客待合所と能古旅客待合所にオストメイト対応トイレと音声案内設備を設置。				
平成26年度の取組み	施設の維持・保全に努める。				
【関係機関】	福岡市港湾局(○国際ターミナル ○博多ふ頭第2ターミナル ○市営渡船待合所)				

障がい者対応型便房改修(姪浜旅客待合所)



着手前



完成

(5) 航空旅客ターミナル

① 段差の解消	
整備内容	1日当たりの平均的な利用者数が3千人以上の航空旅客ターミナルにおいて、エレベーター又はスロープの設置等による段差解消に取り組みます。 ・対象ターミナル数:3
平成25年度の取組み【実績】	既に整備基準に適合した状態であり、施設の維持・保全に努めた。
平成26年度の取組み	1. 国事業の平行誘導路二重化に伴い平成27年度から平成30年度にかけて、国内線旅客ターミナル(第1ターミナル, 第2・第3ターミナル)を再整備する予定である。同再整備計画の実施設計にて、一般旅客動線は段差を解消した計画とし、適所にエレベーターを設置し上下の動線を円滑にしている。 2. 国際線旅客ターミナルについては、既に整備基準に適合した状態であり、施設の維持・保全に努める。
【関係機関】 ○福岡空港(国内線旅客第1ターミナル, 国内線旅客第2・第3ターミナル, 国際線旅客ターミナル)	

② 視覚障がい者誘導用ブロックの整備	
整備内容	1日当たりの平均的な利用者数が3千人以上の航空旅客ターミナルにおいて、公共用通路などターミナルの外部からターミナル内にアプローチし、車両等へスムーズに乗降できるよう、連続性のある視覚障がい者誘導用ブロックの整備に取り組みます。 ・対象ターミナル数:3
平成25年度の取組み【実績】	既に整備基準に適合した状態であり、施設の維持・保全に努めた。
平成26年度の取組み	1. 国事業の平行誘導路二重化に伴い平成27年度から平成30年度にかけて、国内線旅客ターミナル(第1ターミナル, 第2・第3ターミナル)を再整備する予定である。同再整備計画の実施設計にて、視覚障がい者誘導用ブロックを地下鉄などの他の交通機関から有人のカウンターまで整備し連続性のあるアプローチとなるよう計画している。 2. 国際線旅客ターミナルについては、既に整備基準に適合した状態であり、施設の維持・保全に努める。
【関係機関】 ○福岡空港(国内線旅客第1ターミナル, 国内線旅客第2・第3ターミナル, 国際線旅客ターミナル)	

③ 障がい者対応型便所の設置	
整備内容	1日当たりの平均的な利用者数が3千人以上の航空旅客ターミナルにおいて、便所がある場合には障がい者対応型便所の整備に取り組みます。 ・対象ターミナル数:3
平成25年度の取組み【実績】	既に整備基準に適合した状態であり、施設の維持・保全に努めた。
平成26年度の取組み	1. 国事業の平行誘導路二重化に伴い平成27年度から平成30年度にかけて、国内線旅客ターミナル(第1ターミナル, 第2・第3ターミナル)を再整備する予定である。同再整備計画の実施設計にて、ターミナルビル内旅客用便所には多目的トイレを必ず設置、併せて一般便所(男女)内に簡易多目的トイレを設置する計画としている。 2. 国際線旅客ターミナルについては、既に整備基準に適合した状態であり、施設の維持・保全に努める。
【関係機関】 ○福岡空港(国内線旅客第1ターミナル, 国内線旅客第2・第3ターミナル, 国際線旅客ターミナル)	

2 車両等

(1) 乗合バス

① ノンステップバスの導入				
整備内容	車両更新時にノンステップバスの導入に取り組みます。			
指標と実績	導入されたノンステップバス数	現状値	実績	中間目標
		平成24年度	平成25年度	平成28年度
		34	123	継続導入
平成25年度の取組み【実績】	1. ノンステップバスについて、88台導入(計118台)。【西日本鉄道】 2. ノンステップバスについて、1台導入済(計5台)。【JR九州バス】 3. ノンステップバスの導入予定はないが、今後の導入を視野に入れ協議を継続中。【昭和自動車】			
平成26年度の取組み	1. ノンステップバスについて86台導入予定(計204台)。【西日本鉄道】 2. ノンステップバスについて1台導入予定(計6台)。【JR九州バス】 3. 平成26年度の導入予定はないが、平成27年度の導入を検討している。【昭和自動車】			
【関係機関】	○西鉄 ○昭和自動車 ○JR九州バス			

ノンステップバス(西鉄)



地下鉄車両車いすスペース



(2) 福岡市営地下鉄車両

① 地下鉄車両のバリアフリー化				
整備内容	車いすスペースを滑りにくい床表面とします。 ・車いすスペースのある車両数:178			
指標と実績	車いすスペースを滑りにくい床表面とした車両数	現状値	実績	中間目標
		平成24年度	平成25年度	平成28年度
		34	178	維持・保全
平成25年度の取組み【実績】	整備対象としていた車いすスペースについては、平成25年7月末までに滑りにくい床表面とした。また、併せて、地下鉄車両の全箇所の車いすスペースを『優先スペース』として、車両の内外に案内表示を行い、車いす・ベビーカー等をご使用のお客様が安心してご利用できるようにした。			
平成26年度の取組み	既に整備基準に適合した状態であり、車両の維持・保全に努める。			
【関係機関】	○福岡市営地下鉄			

3 道路

(1) 生活関連経路（重点整備地区内）

① 道路のバリアフリー化					
整備内容	重点整備地区内の生活関連施設相互を結ぶ道路のバリアフリー化に取り組みます。 ・整備内容：歩道の段差解消，視覚障がい者誘導用ブロック敷設など ・対象延長：43.6km				
指標と実績	バリアフリー化整備が完了した道路延長(km)	現状値	実績	中間目標	最終目標
		平成24年度	平成25年度	平成28年度	平成32年度
		30.9	31.3	38.1	41.7
平成25年度の取組み【実績】	1. 「春吉橋を核とした空間利活用に関する技術研究会」において，空間利活用の方向性について検討中であり，あわせてバリアフリー化整備も実施予定。【福岡国道事務所】 2. 重点整備地区内の生活関連経路について，バリアフリー整備の現況を調査し，中間及び最終目標を設定した。【福岡市道路下水道局・福岡市港湾局】				
平成26年度の取組み	1. 「春吉橋を核とした空間利活用に関する技術研究会」において，空間利活用の方向性について検討中であり，あわせてバリアフリー化整備も実施予定。【福岡国道事務所】 2. 一部区間の視覚障がい者誘導用ブロックにおいて，利用者意見を踏まえた改善を実施。【福岡国道事務所】 3. 目標の達成に向け，整備を進めていく。【福岡市道路下水道局】 4. 博多・中央ふ頭地区内の生活関連経路については，今後のウォーターフロント地区再整備等の進捗状況を踏まえ，検討する。【福岡市港湾局】				
【関係機関】 ○福岡市(道路下水道局，住宅都市局，港湾局) ○福岡国道事務所					

生活関連経路整備（都市計画道路 長浜臨港線）



着手前



完成

(2) 信号機（重点整備地区内）

① 信号機のバリアフリー化					
整備内容	重点整備地区内の生活関連経路における信号機のバリアフリー化に取り組みます。 ・整備内容：音響式付加信号，視覚障がい者用付加信号，高齢者感應式信号，歩車分離式信号などの設置 ・対象箇所数：196箇所				
指標と実績	バリアフリー化された信号機	現状値	実績	中間目標	最終目標
		平成24年度	平成25年度	平成28年度	平成32年度
		159	169	181	196
平成25年度の取組み【実績】	1. 新たな重点整備地区の設定に伴う信号機の現況調査等を実施 2. 都心部地区を重点に10箇所を整備				
平成26年度の取組み	4箇所に視覚障がい者用付加信号を整備予定。				
【関係機関】	○福岡県公安委員会(福岡県警)				

(3) エスコートゾーン

① エスコートゾーンの設置				
整備内容	横断歩道における視覚障がい者の誘導対応として，必要に応じてエスコートゾーンの設置に取り組みます。			
指標と実績	エスコートゾーンの設置数	現状値	実績	中間目標
		平成24年度	平成25年度	平成28年度
		3	4	適宜
平成25年度の取組み【実績】	1. 利用者意見を踏まえ，要望があれば設置について検討する。【福岡国道事務所】 2. 利用者意見を踏まえ，要望箇所の検討の結果，1箇所設置。【福岡市道路下水道局】			
平成26年度の取組み	利用者意見を踏まえ，要望があれば設置について検討する。 【福岡国道事務所・福岡市道路下水道局】			
【関係機関】	○福岡市道路下水道局 ○福岡国道事務所 ○福岡県公安委員会(福岡県警)			

エスコートゾーン(那の津口交差点西側)



着手前



完成

(4) バス利用環境の改善

① 歩道のマウントアップ					
整備内容	ノンステップバス導入路線を中心として、バス停での乗降しやすさを改善するため、バス停部における歩道のマウントアップ整備に取り組みます。 ・対象箇所数：200箇所(生活関連経路上のバス停)				
指標と実績	バス停部におけるマウントアップされた歩道 (重点整備地区内の生活関連経路)	現状値 平成24年度	実績 平成25年度	中間目標 平成28年度	最終目標 平成32年度
		155	155	170	180
平成25年度の取組み【実績】	1. 重点整備地区内の生活関連経路において、対象箇所を調査し、指標を設定【福岡市道路下水道局】 2. 対象箇所の現況調査を行った。【福岡国道事務所・福岡市港湾局】				
平成26年度の取組み	1. 目標の達成に向け、整備を進めていく。【福岡市道路下水道局】 2. 対象箇所の整備について検討する。【福岡国道事務所・福岡市港湾局】				
【関係機関】	○福岡市道路下水道局 ○福岡市港湾局 ○福岡国道事務所				

② 利用環境の改善				
整備内容	バス停の利用改善のため、上屋やベンチの設置促進に取り組みます。 ①路線バス事業者による設置の促進 ②ベンチ設置許可条件の緩和 ③道路管理者による設置の検討			
指標と実績	上屋やベンチの設置促進	現状値 平成24年度	実績 平成25年度	中間目標 平成28年度
		設置許可条件の緩和 設置条件等の検討	道路管理者 設置 1箇所	適宜
平成25年度の取組み【実績】	1. 市域内バス停2箇所において、上屋及びベンチを設置。【西日本鉄道】 2. 市域内バス停2箇所において、ベンチを設置。【昭和自動車】 3. バス事業者との棲み分けを調整の上、事業化に向けた検証として、市域内バス停2箇所の工事に着手。【福岡市道路下水道局】 4. 公的主体である道路管理者において、国道202号福岡外環状道路のバス停1箇所で上屋を整備。【福岡国道事務所】			
平成26年度の取組み	1. 市域内バス停8箇所において、上屋及びベンチを設置予定。【西日本鉄道】 2. 市域内バス停2箇所において、上屋及びベンチを設置するとともに、バス事業者等と設置箇所などについて役割分担に関する協議等を行いながら、バス停下屋及びベンチについて、整備計画の策定を進める。また、ベンチ設置許可条件の緩和により、地域団体がバス停(1箇所)にベンチを設置。【福岡市道路下水道局】 3. 整備した上屋を民間事業者が広告収入で維持管理する新たなPPP(官民連携)の取組を全国で初めて試行導入。【福岡国道事務所】			
【関係機関】	○福岡市道路下水道局 ○西鉄 ○昭和自動車 ○JR九州バス			

バス停下屋設置



西鉄(福大若葉高校前)



福岡市(東入部)

4 公園

○福岡市が設置・管理する公園

① 園路及び広場のバリアフリー化					
整備内容	公園の新規及び再整備等にあわせて、園路及び広場のバリアフリー化整備に取り組みます。 ・整備内容：有効幅員の確保、段差の解消など ・対象公園数：1,630公園(すべての公園数)				
指標と実績	園路及び広場をバリアフリー化した公園数	現状値	実績	中間目標	最終目標
		平成24年度	平成25年度	平成28年度	平成32年度
		39	59	104	164
平成25年度の取組み【実績】	20公園において、新設及び再整備する際にバリアフリーの基準に合致した園路・広場の整備を行った。				
平成26年度の取組み	引き続き、公園を新設及び再整備する際にバリアフリーの基準に合致した園路・広場の整備を進める。				
【関係機関】 ○福岡市住宅都市局					

② 駐車場のバリアフリー化					
整備内容	駐車場がある場合には駐車場のバリアフリー化整備に取り組みます。 ・整備内容：車いす対応駐車スペースの適正台数の確保など ・対象公園数：31公園(駐車場がある公園数)				
指標と実績	駐車場をバリアフリー化した公園数	現状値	実績	中間目標	最終目標
		平成24年度	平成25年度	平成28年度	平成32年度
		18	18	23	31
平成25年度の取組み【実績】	今津運動公園の拡張に伴い、車いす対応駐車スペースを2台分増設し、整備済みのものを含め19台を確保した。				
平成26年度の取組み	引き続き、対象公園において車いす対応駐車スペースの適正台数分の確保を進める。				
【関係機関】 ○福岡市住宅都市局					

公園駐車場増設(百道中央公園)



着手前



完了

③ 障がい者対応型便所の設置					
整備内容	トイレの設置が必要な公園については、公園の新規及び再整備等にあわせて、障がい者対応型便所の設置を進めます。 ・整備内容:障がい者対応型便所の整備。 対象公園数:358公園(トイレを設置している公園数)				
指標と実績	障がい者対応型便所を整備した公園数	現状値	実績	中間目標	最終目標
		平成24年度	平成25年度	平成28年度	平成32年度
		44	50	80	120
平成25年度の取組み【実績】	1. 5公園において、新設及び再整備にあわせて、障がい者対応型便所の整備を行った。 2. 1公園において、便所を改築する際に、障がい者対応型便所の整備を行った。				
平成26年度の取組み	1. 引き続き、公園の新設及び再整備にあわせて、障がい者対応型便所の整備を進める。 2. 引き続き、公園の便所を改築する際に、障がい者対応型便所の整備を進める。				
【関係機関】 ○福岡市住宅都市局					

公園トイレ改築(榎田中央公園)



着手前



完了

II ソフト面のバリアフリー化

1 「心のバリアフリー」の推進

(1) 啓発・育成・実践

バリアフリー化促進にかかる市民の理解と協力を求める「心のバリアフリー」を全市的に発展させます。

〔啓発〕

① 幅広い市民を対象とした取組み				
取組内容	障がい者週間などの既存行事やバリアフリー表彰などに合わせたシンポジウム等の開催を検討します。			
実施スケジュール	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
幅広い市民を対象とした啓発	実施	→	→	→
平成25年度の取組み【実績】	「障がい者週間記念の集い」を開催し、市民の間に広く障がい者の福祉についての関心と理解を深めるステージイベントを開催した。(主催:福岡市, 実施主体:福岡市障害者関係団体協議会) ・2012年ロンドンパラリンピック選手トークショー ・障がい者施設商品の販売, 福祉車両の展示 など			
平成26年度の取組み	障がいへの理解を深め、障がいのある人の社会参加の意欲を高めるための啓発イベント「障がい者週間記念の集い」を開催した。(主催:福岡市, 実施主体:福岡市障害者関係団体協議会) 【主なイベント内容】 ・1988年パラリンピック金メダリストである礎眞一氏によるトークショー ・障がい者施設商品の販売や障がい者団体によるステージイベント			

障がい者週間記念の集い



出前講座



〔啓発〕

② 啓発ツール等の作成				
取組内容	啓発行事や出前講座, 研修会などにおいて活用する啓発ツール等の作成に取り組みます。			
実施スケジュール	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
啓発ツール等の作成	調査・検討	作成	活用	→
平成25年度の取組み【実績】	出前講座や施設整備担当者研修を実施するにあたり、その地域におけるバリアフリー事例や公共施設のバリアフリー事例を組み入れて、分かりやすく親しみやすい説明資料を作成した。			
平成26年度の取組み	出前講座や施設整備担当者研修を実施するにあたり、新たな事例等を収集し、分かりやすく親しみやすい説明資料を作成している。			

〔育成〕

① 出前講座など				
取組内容	地域団体や民間企業，児童・生徒など，対象者ごと出前講座や教育を進めます。			
実施スケジュール	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
出前講座や教育の実施	実施 広報	→	→	→
平成25年度の取組み【実績】	公民館が主催する高齢者教室「舞鶴大学」において，バリアフリーのまちづくりに関する出前講座を実施した。(全1回:参加者20人)			
平成26年度の取組み	小・中学校及び高校の授業並びに民間企業団体の研修会において，バリアフリーのまちづくりに関する出前講座を実施している。(全4回:参加者434人(12月末現在))			

〔育成〕

② 施設整備担当者研修				
取組内容	バリアフリー整備に携わる人に対する整備基準の考え方，実際の利用者の声などを内容とする技術研修の実施に取り組みます。			
実施スケジュール	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
施設整備担当者研修の実施	検討	実施	→	→
平成25年度の取組み【実績】	電設業会が主催する研修会において，バリアフリー整備に関する研修を実施した。			
平成26年度の取組み	「福岡市福祉のまちづくり条例 施設整備マニュアル」を平成26年11月に改訂したため，設計事務所向けに説明会を実施予定。(平成27年4月1日から施行)			

〔育成〕

③ 行政職員研修				
取組内容	新規採用職員や公共施設整備の担当職員に対するバリアフリー体験研修，公共施設整備の担当職員向け技術研修の実施に取り組みます。			
実施スケジュール	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
行政職員研修の実施	実施	→	→	→
平成25年度の取組み【実績】	公共施設の整備や管理を行う福岡市職員を対象に国土交通省のバリアフリー体験施設で研修を実施した。(参加者10名) 福岡市職員を対象にした技術研修「ユニバーサルなまちづくり(みんなにやさしい施設整備を進めるために)」を実施した。(参加者39名)			
平成26年度の取組み	公共施設の整備や管理を行う福岡市職員を対象に国土交通省のバリアフリー体験施設で研修を実施した。(参加者11名) 福岡市職員を対象にした技術研修「ユニバーサルなまちづくり(みんなにやさしい施設整備を進めるために)」を実施した。(参加者67名)			

〔実践〕

① 「バリアフリーマップ」の更新・調査				
取組内容	市民参加の新たな手法による「福岡市バリアフリーマップ」の更新，調査に取り組みます。			
実施スケジュール	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
市民参加による「バリアフリーマップ」の更新・調査	調査方法及び更新方法等の検討・調整		新たな手法による更新	→
平成25年度の取組み【実績】	「福岡市バリアフリーマップ」のホームページに，NPO法人や民間事業者が作成したバリアフリー情報へのリンクを設定した。 ・音声による道案内 ・都心部施設のバリアフリー情報 など			
平成26年度の取組み	「福岡市バリアフリーマップ」の改善・情報更新 ・PC版ホームページをスマートフォンでも閲覧しやすいよう改善した。（平成26年10月1日より） ・施設のバリアフリー状況を登録施設に照会し，最新情報に更新を予定している。			

〔実践〕

② 共働でバリアフリー化を推進する仕組みづくり				
取組内容	利用者の声を施設設置管理者に伝えるとともに，意見交換等により共働でバリアフリー推進を図る仕組みの構築や「まち歩き」に取り組みます。			
実施スケジュール	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
共働でバリアフリー化を推進する仕組みづくり	他都市調査制度設計・試行		稼動	→
まち歩き	実施	適宜	→	→
平成25年度の取組み【実績】	共働でバリアフリー化を推進する仕組みづくりについては，他都市の事例を収集し，本市への導入可能性について検討した。			
平成26年度の取組み	バリアフリーに関する多様な利用者の声を伝えるための連携体制について検討を行っている。			

(2) バリアフリー情報発信

ハード整備やソフトの取組み成果を積極的に発信し，市民の社会参加を促進します。

① バリアフリー表彰制度				
取組内容	バリアフリーの推進に関して功績のあった者に対する表彰を行い，優れた取組みの普及，啓発の促進に取り組みます。（「ユニバーサル都市・福岡」の推進との連携）			
実施スケジュール	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
バリアフリー表彰制度の実施	実施	実施	→	→
平成25年度の取組み【実績】	ユニバーサル都市・福岡賞において，バリアフリー優良事例を含む取組みについて表彰を行った。 ・全ての人に使いやすく心地よい店舗の整備 ・安全，快適に配慮された製品開発 など			
平成26年度の取組み	ユニバーサル都市・福岡賞において，市民や地域，企業がユニバーサルデザインに基づく優れた活動や製品開発等（バリアフリー優良事例を含む）について表彰を行った。 ・UDタクシーにユニバーサルドライバーが乗務し，全ての人にやさしい取組みを推進 ・子どもを事故から守り，あらゆる防護柵に取り付け可能な製品開発 など			

② バリアフリー優良事例等の収集と公表				
取組内容	バリアフリー表彰制度と併せて、優れた取組みや的確な工夫、アイデアなどの優良事例を収集し、情報発信に取り組みます。			
実施スケジュール	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
バリアフリー優良事例等の収集と公表	事例収集	→ 発信	→ →	→ →
平成25年度の取組み【実績】	1. ユニバーサル都市・福岡賞の受賞者や取組内容をユニバーサル都市・福岡のホームページに掲載。 2. バリアフリー情報発信の取組み ・市ホームページにバリアフリー入門編として、心のバリアフリー及び施設のバリアフリー事例を掲載した。 ・有線テレビJ:COMチャンネル福岡「市政あいうえお」番組でバリアフリーの取組みを紹介し、心のバリアフリーへの協力を呼びかけた。			
平成26年度の取組み	ユニバーサル都市・福岡賞の受賞者や取組内容をユニバーサル都市・福岡のホームページに掲載した。			

③ 進捗状況の公表				
取組内容	福岡市バリアフリー基本計画の進捗状況の公表を行います。			
実施スケジュール	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
バリアフリー基本計画の進捗状況の公表	公表	→	→	→
平成25年度の取組み【実績】	アクションプランに基づく平成25年度の取組みについて市ホームページに掲載。			
平成26年度の取組み	アクションプランに基づく平成25年度の取組実績および平成26年度の取組について市ホームページに掲載予定。			

2 移動支援の推進

既存のハード面を補完し、移動を支援していくソフト面のバリアフリー化に取り組みます。

① わかりやすい案内表示等の研究				
取組内容	主要な駅等を中心に商業施設や公園等の生活関連施設を含むエリア等を対象に、歩道や信号機のバリアフリー化にも合わせて、全ての移動者に分かりやすいサインや案内表示等のあり方等の研究に取り組みます。(施設整備マニュアル改訂と連携)			
実施スケジュール	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
わかりやすい案内表示等の研究	調査・研究	ガイドライン策定	→	→
平成25年度の取組み【実績】	公共サインや外国人への情報提供を所管する関係部署と連携を図り、わかりやすい案内表示等のあり方について検討をおこなった。			
平成26年度の取組み	平成25年度に引き続き、関係部署と連携を図り、「施設整備マニュアル改訂版2014」にわかりやすい案内表示の例を掲載した。			

② 「バリアフリーマップ」の更新・調査【再掲】				
取組内容	市民参加の新たな手法による「福岡市バリアフリーマップ」の更新、調査に取り組みます。			
実施スケジュール	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
市民参加による「バリアフリーマップ」の更新・調査	調査方法及び更新方法等の検討・調整		新たな手法による更新	→
1 「心のバリアフリー」の推進(再掲)				
平成25年度の取組み【実績】	「福岡市バリアフリーマップ」のホームページに、NPO法人や民間事業者が作成したバリアフリー情報へのリンクを設定した。 ・音声案内による道案内 ・都心部施設のバリアフリー情報 など			
平成26年度の取組み	「福岡市バリアフリーマップ」の改善・情報更新 ・PC版ホームページをスマートフォンでも閲覧しやすいよう改善した。(平成26年10月1日より) ・施設のバリアフリー状況を登録施設に照会し、最新情報に更新を予定している。			

Ⅲ バリアフリー化の支援と進行管理

1 スパイラルアップ

バリアフリー化の段階的・継続的な発展を図ります。

① 施設整備マニュアルの改訂				
取組内容	福岡市バリアフリー基本計画に定めるバリアフリー推進の方向性や社会情勢の変化への対応なども踏まえ、福岡市まちづくり条例施行規則に定める整備基準等をまとめた『施設整備マニュアル』の改訂に取り組みます。			
実施スケジュール	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
施設整備マニュアルの改訂	内容検討	改訂	→ 普及・啓発	→
平成25年度 の取組み 【実績】	利用者や学識経験者などで構成する「福岡市バリアフリー整備研究会」を設置するとともに高齢者や障がい当事者などへのアンケート調査を実施し、「施設整備マニュアル」の見直し内容について協議検討を進めた。			
平成26年度 の取組み	「施設整備マニュアル改訂版2014」を11月に作成し、製本印刷して販売している。 (平成27年4月1日から施行)			

施設整備マニュアル改訂版2014

